

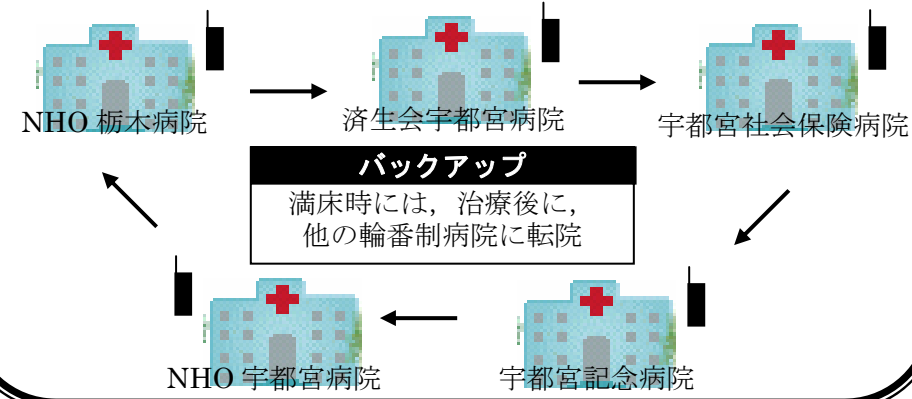
新たな二次救急医療体制の稼働状況について

新たな二次救急医療体制

救急告示医療機関数 16医療機関

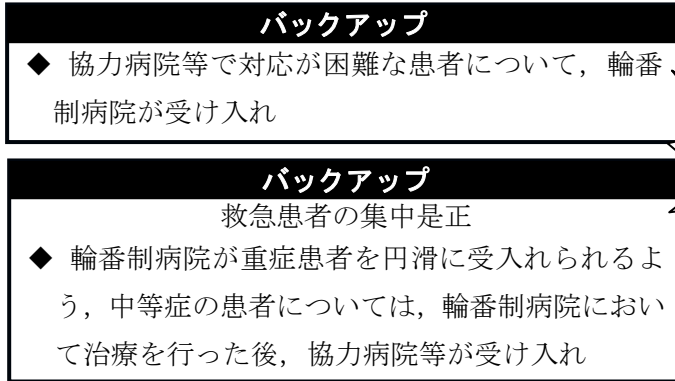
【輪番制病院】

◆ 5病院による輪番制で対応



重症度に応じた患者受入れ

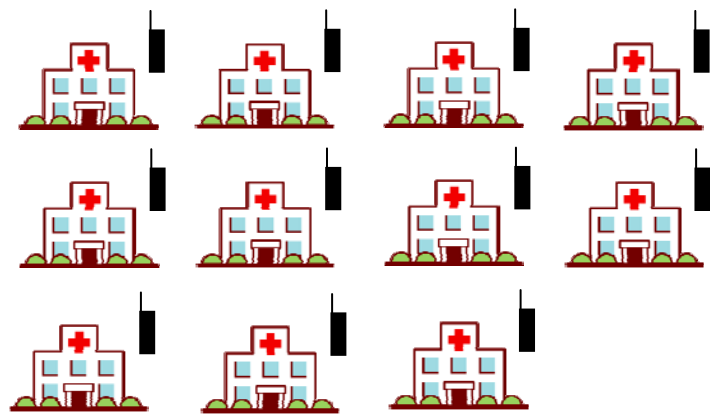
※重症患者の受け入れ



患者発生

【その他の救急告示医療機関】

◆ 協力病院(7), 連携病院(1), 応援救急医療機関(3)に位置づけ



※中等症以下の患者の円滑な受け入れ



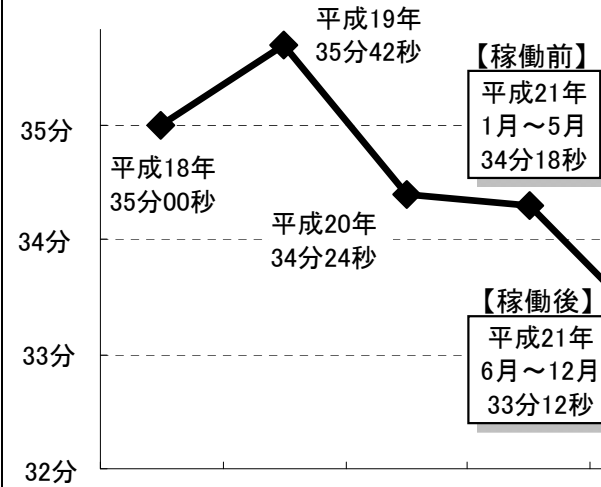
：各救急医療機関に専用電話を配置し、16医療機関すべてが、相互に迅速な連絡を図れる体制を確保

新たな二次救急医療体制の稼働状況

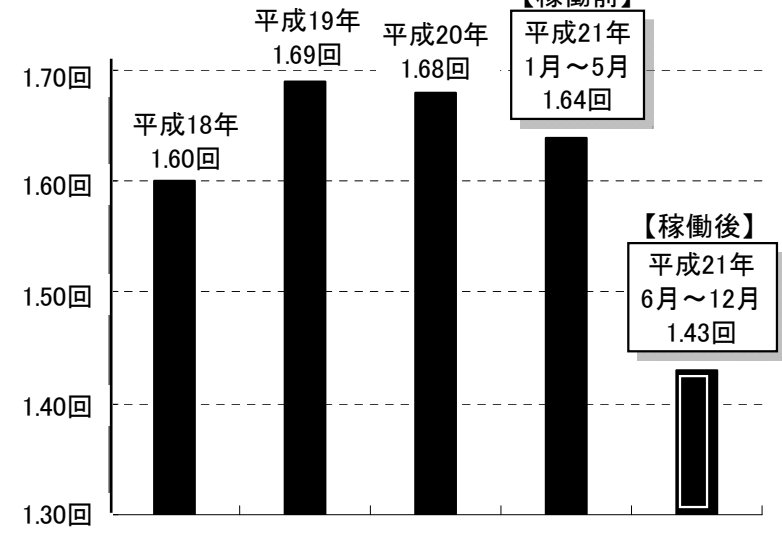
(1) 救急搬送の状況 (24時間)

ア 患者収容までの所要時間

【覚知から病院収容までの所要時間】



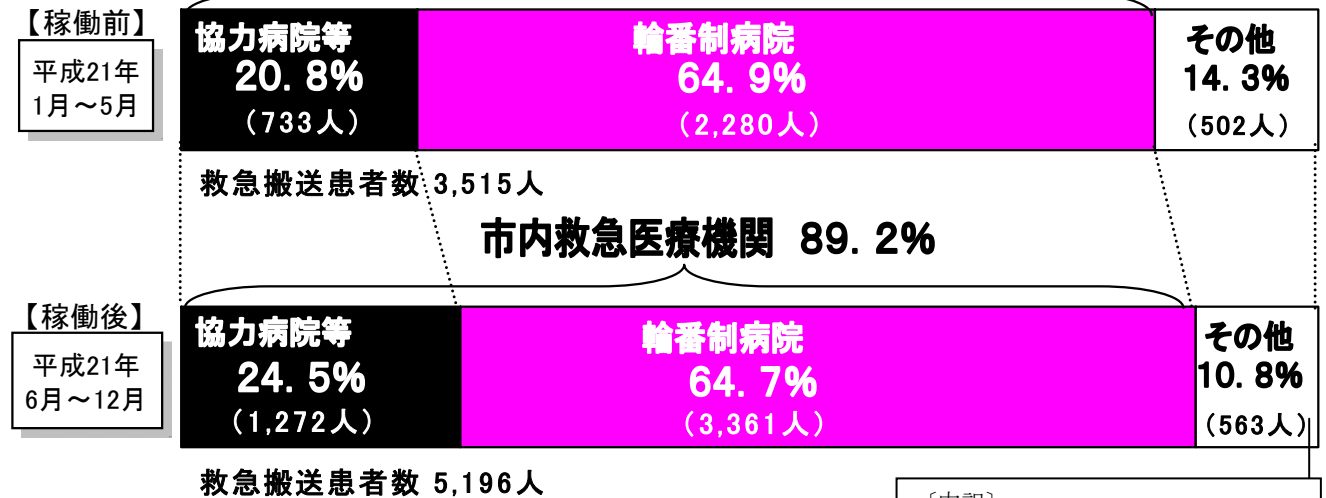
イ 救急隊から救急医療機関への平均問い合わせ回数



(2) 夜間休日における救急搬送患者の受け入れ状況

ア 市内救急医療機関における救急搬送患者受け入れ率

市内救急医療機関 85.7%



市内救急医療機関 89.2%

〔内訳〕  
獨協医科大学病院 300人 (53.3%)  
自治医科大学附属病院 70人 (12.4%)  
その他 193人 (34.3%)

イ 相互支援体制による受け入れ

- ・ 輪番制病院が当番日以外の日に他の当番輪番制病院から受け入れた患者数 ---- 4人
- ・ 協力病院等が輪番制病院から受け入れた患者数 ---- 15人